

かんきょう すい ろ 環境水路の生きもの調査

平成25年7月9日（火）実施

調査について

可茂農林事務所では、県の事業で整備した山之上小学校近くの環境水路で、4年生児童と一緒に生きもの調査を行いました。調査・学習会をとおして、農業用施設のもっているたくさんの役割（多面的機能）について学んでもらうため、毎年4年生を対象に「環境水路の生き物調査」を実施しています。

○環境水路の概要

施工年度 平成15年度
事業名 県営経営体育成基盤整備事業
地区名 山之上地区
施工内容 環境、生態系に配慮するため護岸に間伐材を用いて整備。延長約200m。

①環境水路の説明

岐阜県の工事で、生きものたちが住みやすい「環境水路」をつくりました。

この水路、みんなと同じなんだよ



「環境水路」とは、水路の壁に間伐材を使い、底には玉石という大きな石を敷いた「生きものたちが住みやすく、環境にもやさしい水路」です。

②農業用水の学習会

環境水路の水は、飛騨川の水を白川取水口で取り入れ、地面の中に埋められた管をとおり美濃加茂市まで送られてきます。

しらかわしゅすいこう



管にホースを付けて消火に使うこともできるんだよ



石の下も見てみよう!

魚、カエル、水生昆虫・・・
いろいろな種類の生きものがつかまりました。

③生きもの調査

タモの使い方を教わりながら、一生けん命生きものをつかまえました。



④生きもの学習会

安藤志郎先生の指導のもと、捕まえた生きものを種類ごとに分けて、名前と数を記録。そのあと環境水路がどんな環境なのかをお話ししてもらいました。



めずらしいヨシノボリの卵がみつけられました。ヨシノボリは川の流れているところで、えさが流れてくるのを待ってるんだ



④生きもの放流

つかまえた生きものは、学習会のあとみんな環境水路に帰してあげました。



元気でね～